

報告会「2023 年トルコ・シリア地震のトルコにおける被害概要と教育活動への影響、防災教育の取り組み」で発表しました（2023/10/29）

テーマ：カフラマンマラシュ地震、学校教育、学校防災教育
会場：人と防災未来センター、オンライン

東北大学災害科学国際研究所メンバーを中心とする J-RAPID プロジェクト（※）では、2023 年 9 月に、アジア防災センターと共同でカフラマンマラシュ地震（トルコ・シリア地震）被災地の合同調査を行いました。今回、アジア防災センター主催の同地震被害に関する現地調査の報告会にて、福島洋准教授（陸域地震学・火山学研究分野）と齋藤玲助教（認知科学研究分野）が発表しました。報告会のプログラムは、以下の通りです。

報告

- トルコ・シリア地震の概要と ADRC の取り組み（児玉美樹氏：アジア防災センター）
- トルコ被災地における教育現場の復興と防災教育（立部知保里氏：アジア防災センター）
- 震災経験の教材化プロジェクト構想の紹介と現地調査結果の検討
（福島洋准教授・齋藤玲助教：東北大学災害科学国際研究所）
- 被災地での防災教育と心のケアの一体化～日本の経験から考える～
（諏訪清二客員教授：兵庫県立大学）

トークセッション

震災と向き合う教育の創造—阪神・淡路大震災、東日本大震災の経験から—

アジア防災センターの両氏からは、トルコ・シリア地震の概要、並びに ADRC の取り組み、学校教育現場の復旧・復興の要素、さらには防災教育に関わる調査結果に関する報告がありました。福島准教授と齋藤助教の報告では、J-RAPID を契機とするトルコでの防災教育の充実に関する研究プロジェクトの現在の取り組み状況に加えて、今後の展望について発表しました。諏訪客員教授からは、主に阪神淡路大震災の復旧・復興、さらには、その後の防災教育の充実に関わってこられたご経験から、今後のトルコにおける学校教育支援や日本とトルコの防災教育に関する連携のヴィジョンの共有がありました。トークセッションにおいては、本研究グループとアジア防災センターの研究グループの今後の一層の連携が提案され、両研究グループ関係者の賛同のもと、報告会は閉会しました。

※ 同プロジェクトについては、以下のアクティビティレポートをご確認ください。

カフラマンマラシュ地震の学校防災教育に関する調査研究プロジェクトを開始しました

https://irides.tohoku.ac.jp/media/files/_u/topic/file/20230921_reportc.pdf



福島准教授の報告



齋藤助教の報告

文責：齋藤 玲（認知科学研究分野）、福島 洋（陸域地震学・火山学研究分野）